

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

生体部分肝移植における抗ドナーHLA 抗体の影響

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 藤山 泰二（肝胆膵・乳腺外科 准教授）

【研究担当者】 田村 圭

【研究の目的】

過去に当科で行われた生体部分肝移植患者様の診療録（カルテ）の情報を収集し、術前の抗 HLA 抗体の影響について評価する研究を行うことといたしました。この研究は生体部分肝移植における危険因子の検討を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者様） 当科で生体部分肝移植術を受けた患者様
（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
（検査・手術で採取した組織） 当院で保管されている組織を用いて抗原や抗体の検査を行います。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿

名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 藤山 泰二

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327